

令和5年度 第1回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和5年6月7日（水）午後2時00分～5時00分

場 所： 逗子市役所5階 第5会議室

出 席： 角田委員（議長）、荻村委員、池上委員、小林委員、
佐藤委員、長坂委員、桑原委員、門脇委員

欠 席： 峯尾委員、栗津委員

事務局： 社会教育課 佐藤課長、青山係長

企画課： 四宮課長、薦木主事

市民協働課：新倉次長、西係長、今野主事

傍聴者： なし

資 料：

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1 令和5年度逗子市社会教育委員名簿 | |
| 2 逗子市教育委員会機構図 | [報告1] |
| 3 令和4年度社会教育課主催講座一覧（事前送付済） | [報告3] |
| 4 令和5年度社会教育委員会議 年間予定表 | [議題1・2] |
| 5 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会 事業計画（案） | [議題1・2] |
| 6 社会教育推進プラン進行管理表（事前送付済） | [議題3] |
| 7 令和5年度社会教育課主催講座実施計画 | [議題4] |
| 8 JR東逗子駅前用地活用事業基本構想 | [その他] |

●開会

●委員、事務局紹介

●資料確認

●報告事項（1）教育委員会人事異動について

○事務局より説明。

教育部長、次長、参事の人事異動を資料により説明。

また、社会教育係長として青山が着任。

●報告事項（２）教育委員会定例会について

○事： ２月以降の教育委員会定例会における社会教育課に関する部分については特になかったが、博物館法改正に伴う池子遺跡資料館の規則改正、長柄桜山古墳群の令和５年度工事計画に係る報告をした。

●報告事項（３）令和４年度社会教育課主催講座の開催状況について

○事： 人権作文表彰式典などの人権教育等事業、現代的課題、地域の課題、地域活動、家庭教育推進、社会教育出張講座など、概ね予定通り開催した。

○委： オンライン講座も開催したが、今後も続けていくのか。

○事： 家庭教育講座などニーズも有るので、これからも講座内容や参加者を取り巻く環境を鑑み、様々な方法を模索しながら続けていきたい。

●議題（１）令和５年度社会教育委員会議年間予定について

○第２回会議定例会の日程調整。協議の結果、９月１日（金）１４時３０分より開始。
第３回・４回については次回以降に決定する。

●議題（２）令和５年度神奈川県社会教育委員連絡協議会年間予定について

○研修会等の参加委員を決定。

総会	６月１２日（月）・かながわ県民センターホール	角田議長、佐藤委員
研修会	９月４日（月）・総合教育センター	門脇委員
地区研究会	令和６年１月２７日（土）・開成町	荻村委員、長坂委員

地区研究会 令和6年2月15日(木)・寒川町 桑原委員
欠席の委員については、後日改めて決定する。

●議題(3) 社会教育推進プラン進行管理について

○令和4年度事業の開催状況および進行管理について、事務局より説明。

○事： 各事業は市の総合計画・基礎計画・個別計画の一体的な進行管理がされている。その中で、社会教育推進プランは個別計画に位置付けられ行われる。審議会・懇話会等の意見、評価を得た上で上位の計画へ報告する。委員の意見を伺いたい。

○委： 多様性の講座があるなど、幅広く興味深い講座が増えた。今後も期待したい。

○委： 講座の応募率が高く、講座内容の感想も上々に感じる。家庭教育講座のオンライン視聴も増えている。障がい者向けの講座は告知の表現などに工夫がされていて、幅広い層にPRができていた。とは言え、まだまだ伝わっていない層も有るので、様々な工夫が必要と思う。

○委： 市民の情報入手方法として、掲示板も多かった。インターネットから情報を得る方向に移っていく中でも、こういったアナログな情報発信は続けてほしい。

○委： 講座アンケートは量的な評価より質的な評価がわかり、大変参考になる。集まったデータは細かく分析して次に活かしたい。

○委： 社会教育課は講座アンケートを積極的に集め集計しているので資料が豊富だ。他の課も積極的にアンケートを取っていくよう提言したい。ハイブリッドの講座は更に推進したいが、まだ難点もある。クリアは出来ると思うので努力を望む。

○委： オンライン講座の技術面での問題は、何回か続けて慣れていくことで解決していける。

○事： 広がりを考えればハイブリッドも必要になる。機材や環境などの問題点を踏まえながら、新しい企画を考えていく。

○委：プランに、老朽化した文化財収蔵庫を改修する、とある。どのような状況なのか。

○事：収蔵許容量はいっぱいになりつつある。また、池子資料館のみでは文化財の維持管理や保存、郷土の歴史を学ぶ場は少ない。どのようにやりくりするかは長年の課題となっている。

●議題（４）令和５年度社会教育課主催講座について

○事務局より、開催予定の講座数、現時点で開催が決まっている講座について説明。

○事：今年度もこの先の状況に応じて、講座を進めていく。また、委員からも講座の提案があれば、実施について調整する。

●その他（１）生涯学習推進プランについて

○事：生涯学習推進プランについては、今後の調整状況にもよるが、年度内に説明会の実施などに向けて準備を進めている。改めて次の機会に報告したい。

●その他（２）JR 東逗子駅前用地活用事業について

○事：JR 東逗子駅前用地活用事業について、企画課から説明する。

○企画課：総合計画の施策として位置付けている JR 東逗子駅前用地活用事業は、逗子市土地開発公社が所有する JR 東逗子駅前の旧国鉄精算事業団用地を有効活用して、公共施設（沼間コミセン、福祉会館、子育て支援センター、東部地域包括支援センターなど）を集約する新たな複合施設の建設を検討している。これにより、駅周辺の快適性、利便性向上及び地域活性化を図ることを目的とする。本年度基本計画を策定し、令和 9 年度中の供用開始を目指す。本年度は 7 月から 10 月に計 3 回、市民向けのワークショップ及び説明会を開催し、年内に基本計画案を作成する。その後、年明けに基本計画案についての説明会とパブリックコメントを実施し、年度末に基本計画を策定す

る。

○委：ワークショップは施設使用者を対象としているのか。

○企画課：逗子市在住・在勤・在学の18歳以上の方を予定しており、施設の利用にかかわらず参加は可能。7月の広報ずし、チラシなどで告知を行う。

○委：施設使用者の駐車場や新しいバス路線などは考えているのか。

○企画課：施設使用者の駐車場は設置する。池子方面からのバス路線延伸については、周辺の道路事情などに課題があるが、検討すべき行政課題だと考えている。

○委：子育て支援センターは東逗子駅というよりは逗子駅に近いと思うが、東逗子駅前活用事業に含まれてしまうのか。また、現在のセンターは閉鎖するのか。

○企画課：公共施設・機能の集約、財政面の点から、子育て支援センターは複合施設に移設し、現在のセンターは他の行政目的がなければ、原則として廃止となる。

○委：複合施設の規模はどのくらいか。

○企画課：集約するにあたって各施設が現在有している機能を全て移設するわけではない。用途地域の制限では20mの高さまでの施設は作れるが、これまでの利用実績や個別のヒアリングから、必要な規模を検討する。

○委：JR 逗子駅にあったような展示スペース確保の要望はできるか。

○企画課：要望は受けるが、導入するかは今後検討していくところである。

○委：整備の前提条件の中に、事業予定地の一部が逗子市洪水ハザードマップの「内水による浸水想定区域」に指定されている、とある。これはどういう想定がされているのか。

○企画課：津波が来る地域ではないので、豪雨などでの浸水を想定している。対応として施設内が浸水しない設備を考えている。

○委：ふれあい広場はどうか。新旧の住民の交流の場があるといいと考える。

○企画課：ふれあい広場は重要なものであると考える。新施設では新たに公共施設としての広場として、住民の交流の場として活用していただく想定である。

○委：東逗子駅を利用する学生は多いが、工事による安全面の確保は大丈夫か。

○企画課：本年度は基本計画を策定する段階であり工事まで及ばないが、当然安全は確保すべきことと考えている。

●その他（３）

次回、第２回教育委員会議は、９月１日（金）開催（１４時３０分～）で調整する。

●閉会

委：は委員、事：は事務局が発言した内容。